



【利用者の状況】

定 員	35名	利用者数	140名
-----	-----	------	------

\* 年齢階層

	～64	65～ 69	70～ 74	74～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100～
男性	0	1	1	5	4	5	4	1	0
女性	0	0	4	10	26	40	13	4	1
合計	0	1	5	15	30	45	17	5	1

\* 利用期間

期間	3月	6月	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
人数	6	5	9	27	11	8	11	8	9	25

\* 要介護度区分

	一般 高齢者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性	0	2	2	6	6	5	0	0
女性	13	24	16	25	10	10	0	0
合計	13	26	18	31	16	15	0	0

【職員の状況】

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数	
	常勤(人)		非常勤(人)				
	専従	兼務	専従	兼務			
管理者		1				1	
生活相談員	2				2	1	
看護職員		1		1	1.7	1	
介護職員	6		1		6.6	5	
機能訓練員		1		1	0.3		
調理員	2						
前年度採用・退職の状況			採用	常勤	0人	非常勤	3人
			退職	常勤	0人	非常勤	0人
○常勤職員の当該法人での平均勤務年						4.8年	

○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数	4.6年
○常勤職員の平均年齢	43歳
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢	45歳

※常勤換算数及び基準職員数は、当該職について、運営基準等で定められている場合のみ記入。

### 3 評価の総評

#### □ 特に評価の高い点

##### ●法人の理念の具現化に向けた積極的な取組み

基本理念である、「施設と在宅の総合的介護サービス提供を行い、地域の福祉センターとしての役割と機能を果たします」の具現化に向け、法人が一体となって、介護予防教室などの地域の福祉活動や西方夏祭り、市民運動会などの地域の行事に積極的に参画する等、地域の組織と密接に連携している。

また、地域住民のニーズを把握した上で、法人の使命・役割を意識し新たな事業を展開するなど、福祉サービスのさらなる充実に向けた取組みが高く評価される。

##### ●管理者・職員が一体となったサービス向上への取組み

職員の一人ひとりが、サービスの質の向上に向けて自分の役割の中で、具体的な改善点を自己評価し、運営委員会等で段階的に検討している。また、その検討結果を、管理者のリーダーシップのもとに、職員が一体となって改善に取り組んでおり、サービスの向上に向けての意欲と前向きな姿勢がみられる。

##### ●利用者の高い評価

利用者アンケートの回収率は87%と高く、調査結果からは、職員が何かにつけて心を配り、気軽に声をかけて、丁寧に対応してくれる等、職員の利用者への温かい心配りや、施設が清潔で安全で快適である等、満足度の高い回答が多かった。

これは、「利用者の満足向上に向けて取組む」と中期経営目標に掲げられた当面の課題への、職員の努力が伺える結果と思われる。

#### □ 改善を求められる点

##### ●利用者満足調査の分析と継続的な取組み

今後、利用者満足調査で把握した結果を、職員のみでなく利用者や家族も参画した上で、検討・改善に向けての継続的な取り組みが望まれる。

##### ●利用者情報とサービス実施計画について

利用者全てについて、アセスメント、サービス計画、実施、評価がなされているが、一連のプロセスに基づいた情報の整理やサービス提供を進める関係職員の合議の仕組み等、サービス提供実施記録の充実について改善が望まれる。

#### 4 第三者評価に対する事業者のコメント

今回、福祉サービス第三者評価を受審して、各項目ごとの自己評価を行い、記入して  
いくなかで、自ら提供しているサービス状況を客観的な視点で見直すことができました。  
又、その自己評価に対して第三者評価機関に評価していただき、自分たちで気付かなか  
ったことに新たな気付きもいただきました。

今後、評価の良かった点についてはより展ばし、改善を気付かせていただいた点につ  
いてはスタッフ全員で十分検討し、セールスポイントに変えていけるように取り組んで  
いきます。安心して利用できる、質の高い施設にしていきたいと考えます。